

授業科目名 <英訳>	現代社会と科学技術（政策） Science and innovation for the society				担当者所属・ 職名・氏名	医学研究科 教授 川上 浩司					
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2017・ 後期	曜時限	木2	授業 形態	実習	使用 言語	日本語及び英語
【授業の概要・目的】											
本講義は、「政策のための科学」プログラムの必修科目の1つ（入門必修科目）である。本講義は、現代社会と科学技術入門と一貫した講義であり、受講者は現代社会と科学技術入門の講義から継続した受講が必要である。											
【到達目標】											
「政策のための科学」プログラムにおいては、科学と社会、政策とを「つなぐ人材」の養成を目標としている。この目的のために、様々な関連トピックを取り上げて、講師からの話題提供と、それに基づいた学生間のディスカッションを行い、科学の多様性と社会、政策を考えるための端緒とする。											
【授業計画と内容】											
【予定・内容】											
第1回 10月05日 平川教授 トランス・サイエンスとParticipatory Technology Assessment											
第2回 10月12日 加藤教授 ライフサイエンス研究の倫理とガバナンス											
第3回 10月19日 御手洗教授 都市政策の立案											
第4回 10月26日 佐野教授 現代民主主義のもとでの政策決定											
第5回 11月02日 小山田教授 データ可視化と政策立案											
第6回 11月09日 齊藤准教授 社会的課題と情報通信技術の役割											
第7回 11月16日 全教員 研究の進捗確認											
第8回 11月30日 宮川教授 化学物質のリスク評価とリスク管理											
第9回 12月07日 依田教授 「政策のための科学」の計量書誌学データ分析											
第10回 12月14日 後藤准教授 医療費の増加と医療技術評価											
第11回 12月21日 富田教授 技術の質の評価											
第12回 12月28日 ベッカー教授(仮) 未定											
第13回 01月11日 伊勢田准教授 クリティカルシンキングの観点から見た科学技術と社会											
第14回 01月18日 末松教授 トランザクション・コストと経済政策											
第15回 01月25日 瓜生原准教授 移植医療の社会的価値											
第16回 02月01日 宮野准教授 振り返りワークショップ											
【履修要件】											
本コースは現代社会と科学技術入門と一貫した講義であり、受講者は現代社会と科学技術入門の講義から継続した受講が必要である。											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
平常点（出席を含む、50％）、レポート（50％）											
【教科書】											
特になし											
----- 現代社会と科学技術（政策）(2)へ続く -----											

現代社会と科学技術（政策）(2)

[参考書等]

（参考書）
特になし

[授業外学習（予習・復習）等]

適宜予習復習を求める。

（その他（オフィスアワー等））

面談希望は必ずメールで kawakami.koji.4e@kyoto-u.ac.jpまでご連絡下さい。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。